



# CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 鈴木 雅之  
幹事 斉藤 隆  
SAA 鈴木修一郎  
会報小委員長 浜津 真也

◎例会日 毎週水曜日(12:30～13:30) ◎事務所 いわき市植田町中央一丁目6番地の9  
◎例会場 ホテルミドリ TEL0246-62-3737

## 世界へのプレゼントになろう

2015～2016年国際ロータリーのテーマ

### ゲスト

特定非営利活動法人 ザ・ピープル  
理事長 吉田 恵美子 様

第 2644 回 例会 平成 28 年 5 月 18 日(水・雨)

### ロータリーソング

— 今月は青少年奉仕月間です —

ロータリーの行動規範  
関川 豊美会員



役員宜しくお祝い致します。  
・15日(日)開催 日本さくらロータリー会合同例会 (いわき桜RC)  
元総理 森 喜朗先生 記念講演 勿来ロータリークラブから9名参加してまいりました。  
・20日(金)インターアクトクラブ連絡協議会 郡山開成山大神宮(参集殿)にて開催 磐城農業高等学校 室井恵梨香先生 岩元副幹事・高橋副委員会参加  
・いわき分区より、2016 - 17年度派遣交換留学生プロフィール、勿来授産所 会費納入礼状いわき市より、6月12日開催いわき勿来ロータリーの日公開例会 勿来市民館使用承認通知書北茨城RCより、週報以上回覧中でございます。ご確認ください！

### ◎各委員会報告

#### ◇出席委員会 - 鈴木小委員長

本日の出席状況は下記の通りです。

#### ◇スマイルボックス委員会 - 林小委員長

・特定非営利活動法人ザ・ピープル理事長吉田恵美子様の卓話を歓迎して。  
渡邊(國)、山下、富岡、小熊、高木、生駒、高萩、木幡、清水、越田和、後藤、添田、関川、鈴木(修)、渡邊(公)、吉野、高田、嵐、大平、林、鈴木、赤津(善)、川口、高橋、蛭田、金成、鈴木(孝)、内藤各会員及び鈴木雅之会長、佐藤政司副会長、富澤会長エレクト、斉藤幹事、岩元副幹事  
・前回休んでごめんさい。



### ◎会長報告 - 鈴木雅之会長

皆さん、今日は。まず、本日例会前の臨時総会において慎重審議頂きましてありがとうございました。「勿来RCの日」が第2648回の例会となりました。また、次年度のクラブ編成のご承認いただきありがとうございます。次に私、目の手術のため先週の例会を欠席しまして申し訳ございませんでした。また、ご心配をお掛けし申し訳ございません。今日から復活しましたので宜しくお願いします。それから、今日の外部卓話のお客様は、特定非営利活動法人ザ・ピープル理事長の吉田恵美子様です。後程、鈴木SAAからご紹介頂きたいと存じます。会長報告は2点です。来る6月12日の「勿来RCの日」の広報活動で、いわき分区の各クラブを明日19日から、渡辺実行委員長、鈴木修一郎副実行委員長、富澤エレクト、佐藤副会長、斉藤幹事、岩元副幹事、次期鈴木副会長らと手分けしメイクアップをして参ります。現状の報告としては、熱気球体験搭乗の応募ハガキが届き始めており、また、問合せも入り始めております。皆様のご協力をお願いする次第です。今週中に第1回目「勿来RCの日」の当日出欠のFAXを配信します。次に、今週22日(日)、地区研修・協議会が開催されます。詳細については、富澤エレクトからご報告願います。

### ◎幹事報告 - 斉藤 隆幹事

・22日(日)開催3RCゴルフコンペ参加者斉藤、川口、山下、富岡、田子会員。茨城パシフィックカントリークラブ 各自8:00集合です。  
・22日開催 地区研修・協議会次期役員各委員会委

出席状況	正会員数 本日の出席率	51名 85.71%	本日出席会員数 修正出席率	42名 89.80%
------	----------------	---------------	------------------	---------------

小熊、矢代各会員及び鈴木雅之会長

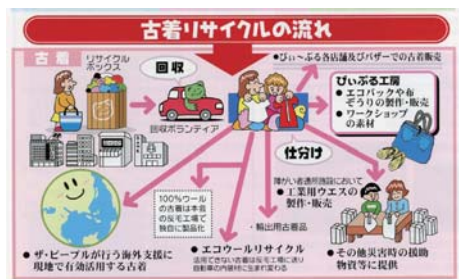
### ◎外部卓話



特定非営利活動法人 ザ・ピープル  
理事長 吉田恵美子 様  
皆様、今日は。本日はお招き戴きありがとうございます。今日はザ・ピープルの活動内容とオーガニックコットンについてお話をします。

この法人は、自分たちが住むまちの問題を自分たち自身が考え、その解決のため主体的に行動する、そうした住民の存在がこれからの地域を支える基盤であると考え、「住民主体のまちづくり」を進めることを大きな活動の目的とする。また、「地域」に対する意識を広げ、地球市民のひとりとして自分たちの果たすべき役割を担うことを目的としています。

いわき市内21ヶ所、福島市など県内18ヶ所に設置した古着回収ボックスを通して回収される古着。宅配便で全国各地から送られてくる古着。その総量は年間250トンにもなります。このうち状態の良いものは常設の店舗やイベントバザーなどで格安の価格で販売。地域内リユースを進めています。リユースやリメイク品づくりなどで活用できない古着は、自動車の内装材を製造する工場に運ばれリサイクルされます。地域内でも反毛機を導入し、手芸用リサイクルウールワタの製造を行っています。



特定非営利活動法人ワークショップあいいい(就労継続支援B型)と連携を図りながら、ウエス材の原料となる古着の提供を行っています。また、東日本大震災後は、障がい者の手仕事づくりなどにも取り組んでいます。

タイ国北部ナーン県において、山岳民族の子供たちのための通学寮・子供センターの整備を行っています。学習意欲があっても経済的な理由で上級学校への進学が難しい生徒(高校生・大学生)に対する奨学金の供与を行っています。

年4回会報《ザ・ピープル》5000部を発行し、会員及び公民館などを介して一般市民への情報提供を行っています。ホームページでの情報発信も行っています。

環境・教育・福祉・国際理解・ボランティア活動・まちづくり等に関し、市民を対象とした様々な学びの機会を提供する事業を開催しています。

市内の各団体との連携を図りそのネットワーク組織確立のため、事務局機能を果たす活動を行っています。《いわき市民国際交流・協力団体連絡会 事務局》市内の3NPOの連携により、「震災後のいわきで、希望のまちづくりを市民の手で進めよう」と「いわきおてんとSUNプロジェクト」を立ち上げ、オーガニックコットン栽培・市民コミュニティ電力・被災地再生を学ぶスタディツアーの3事業に取り組んでいます。

災害の被災者に対して、救援物資としての古着の提供等支援事業を行っています。東日本大震災では、いわき市も地震と津波の被災地となったことから、震災直後から避難所への救援物資の提供を皮切りに、いわき市小名浜地区災害(後に復興支援)ボランティアセンターを開設して被災者支援の活動を展開して、ボランティア活動体験受け入れの窓口として機能しています。特に、津波や地震の被災者・福島第一原発事故の避難者・地域住民が交流し合える場づくりを目指して[小名浜地区交流サロン][常磐地区コミュニティサロン]を開設、運営しています。

東日本大震災後、原発事故に伴う風評被害等で疲弊した地域の農業の再生を目指して、有機農法による在来種茶綿の栽培を行っています。農業者・地域住民・避難者・首都圏からのボランティア…多様な人々が参加する栽培から、ふくしま再生のプロセスを生み出そうとしています。収穫された綿を加工して繊維製品を作り上げることで、新たな繊維産業の創出を目指しています。

### ○「オーガニック」コットンとは…

3年以上農薬・化学肥料が使われていない土壌で、農薬・化学肥料を使わずに自然に由来する有機肥料のみで栽培されたコットンのことです。ただ、日本国内では綿自体がほぼ栽培されていないのと、有機JASの認証制度では食品以外の認証は行われていないため、有機JASマークの入ったオーガニックコットンはありません。

世界ではインドが最大生産国です。外国で栽培されているコットンのほとんどで沢山の農薬や化学肥料が使われています。中には、収穫の際に葉があると混入してしまうので、枯れさせる為に枯葉剤を使う場合あり、働く人に健康被害を生み出している場合さえあります。

